

あなたと青山学院

地の塩、世の光
The Salt of the Earth, The Light of the World
 青山学院スクール・モットー

35万人の卒業生と母校をつなぐ「絆」

February 2018 No.26

今号の聖句 疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう。 マタイによる福音書 11章28節

箱根駅伝4連覇 史上6校目

1月2日(火)、3日(水)に行われた第94回東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)。往路は1位の東洋大学に36秒差の2位につけた本大学は、復路で逆転し、総合記録で大会新記録という華を添え、見事総合優勝を果たし、4連覇を達成しました。



復路大学駅伝競走 ★ SAPPORO

© スポーツ報知

復路ゴール(橋間選手)

「戦国駅伝」との呼び声が高く、打倒青学を目指し着実に実力をつけている他校を相手に、原晋大学陸上競技部(長距離ブロック)監督は作戦名を「ハーモニー大作戦」と銘打ち、今大会に臨みました。往路では、2区の森田歩希選手が山梨学院大学のドミニク・ニヤロ選手と同タイムの区間賞を獲得。復路では、3年連続6区出場の小野田勇次選手が「山下りのスペシャリスト」の名にふさわしい区間賞の走り首位に立ち、7区では、箱根駅伝初出場の林奎介選手が東洋大学の設楽悠太選手の記録(2012年)を16秒縮める区間新記録で走り抜け、下田裕太選手は3年連続8区に出場し、3年連続区間賞獲得という群を抜く強さを発揮し、優勝を決定づけました。4選手の区間賞に限らず、選手全員が本来の力を発揮し、まさに全員の力を結集した見事なハーモニーを奏でての優勝と言えるでしょう。

感動を与えてくれた選手たち、原監督やコーチ、マネージャー、部員の皆さまに感謝いたします。沿道やテレビの前で応援してくださった多くの校友、青山学院関係者の皆さまに、心より御礼申し上げます。

第94回箱根駅伝 区間結果

区間	走者	区間記録	区間順位	総合記録	総合順位
1区(21.3km)	鈴木 聖人(総合文化政策学部総合文化政策学科2年)	1時間02分41秒	5位	1時間02分41秒	5位
2区(23.1km)	森田 歩希(社会情報学部社会情報学科3年)	1時間07分15秒	1位 区間賞	2時間09分56秒	2位
3区(21.4km)	田村 和希(経営学部経営学科4年)	1時間02分41秒	2位	3時間12分37秒	2位
4区(20.9km)	梶谷 瑠哉(教育人間科学部教育学科3年)	1時間03分39秒	9位	4時間16分16秒	2位
5区(20.8km)	竹石 尚人(総合文化政策学部総合文化政策学科2年)	1時間12分49秒	5位	5時間29分05秒	2位
往路総合記録(大手町~箱根・芦ノ湖)					
6区(20.8km)	小野田 勇次(経営学部経営学科3年)	58分03秒	1位 区間賞	6時間27分08秒	1位
7区(21.3km)	林 奎介(理工学部機械創造工学科3年)	1時間02分16秒	1位 区間新記録	7時間29分24秒	1位
8区(21.4km)	下田 裕太(教育人間科学部教育学科4年)	1時間04分46秒	1位 区間賞	8時間34分10秒	1位
9区(23.1km)	近藤 修一郎(社会情報学部社会情報学科4年)	1時間11分51秒	9位	9時間46分01秒	1位
10区(23.0km)	橋間 貴弥(社会情報学部社会情報学科3年)	1時間11分38秒	2位	10時間57分39秒	1位
復路総合記録(箱根・芦ノ湖~大手町)					
総合記録 10時間57分39秒 1位 総合新記録					

※関連記事が2面に掲載されています。

青山学院の二つの宣言

青山学院は昨年11月、創立143周年にあたり、二つの宣言をいたしました。

新経営宣言=「Be the Difference」

理事長 堀田 宣彌

最近、メディアでは教育、学校に関することがとても多く取り上げられています。教育の質は、日本のみならず世界の将来を左右する重要なテーマではないでしょうか。

青山学院は、社会より求められている期待に応えるべく生き抜いていかなければならないという認識と決意を新たにし、創立143周年にあたり、二つの宣言を公表いたしました。「AOYAMA VISION パワーアップ宣言」と「新経営宣言」です。

「新経営宣言」は、青山学院の経営に関する新たな戦略であり、「AOYAMA VISION パワーアップ宣言」の実現を経営的に支えます。「AOYAMA VISION パワーアップ宣言」は、学院を取り巻く教育環境に対応するため、積極的にスピード感を持って質的向上を図りながら具体的に目に見える成果を狙ったものです。この二つの宣言は、青山学院の成長・発展の両輪です。

「新経営宣言」のスローガンとして「Be the Difference」を制定しました(わたしたちは、与えられた恵みによって、それぞれ異なった賜物をもっています/聖書ローマ12:6)。目的は、校友、教職員が「10点満点の愛校心」を持ってくれる教育を目指す決意です。校友は青山学院の宝です。青山学院は、校友を決して忘れません。これが「新経営宣言」です。



AOYAMA VISIONパワーアップ宣言

院長 梅津 順一

ご承知のように、AOYAMA VISIONは創立140周年を機に、150年に向けて発表されました。青山学院のミッションを確認し、そのうえで、サーバント・リーダーを育む総合学園というヴィジョンを掲げました。その後、3年を経て、ヴィジョン実現のアクション・プランを改定したのがこの宣言です。

学校・大学は、社会に新しい風を吹かせ、社会をよりよく作り変えるという側面と、今、社会が必要とする有用な人材を提供するという側面があります。明治初年の青山学院の出発は、この前者でした。他方、現代は目まぐるしい変化の時代です。グローバル化の進展、情報技術の発展は、世界を大きく作り変えつつあり、教育も変革が求められています。

青山学院が掲げるキリスト教信仰にもとづく教育、神の前に真実に生きること、愛と奉仕の精神は、どの時代にあっても大切なことです。一方、青山学院は広い世界に羽ばたき、さまざまな分野で存分に活躍できる人材を養成し続けなければなりません。今回のアクション・プランには、そのためのさまざまな工夫が示されています。

幼稚園から大学・大学院までを擁する総合学園として、青山学院は確かな地位を保ってきました。しかし、そこに安住せず、世界の青山学院となるために、校友の皆さまにもこの改定されたヴィジョンを共有していただければと存じます。



※関連記事が3面に掲載されています。

CONTENTS

学校法人	箱根駅伝4連覇、青山学院の二つの宣言	1	校友会	アイビーグループニュース	10
学校法人	箱根駅伝 & 全日本大学駅伝結果報告	2	校友会	あのころ・そして・いま/陶芸家 道川 省三さん	12
学校法人	青山学院の二つの宣言	3	校友会	青学商店街	13
学校法人	初等部創立80周年、今号の聖句	4	学校法人	Useful Information	14
学校法人	初等部創立80周年、青学ニュース	5	学校法人	青山学院からのお知らせとお願い	15
校友会	支部ニュース	6	校友会	校友会ニュース/みんなで走った箱根駅伝	16
校友会	部会・同窓会ニュース	7			